

これまで主にプラスチック削減についてのセミナーを開催してきましたが、今回は、プラスチックの焼却が気候変動にも少なからず関わっていることから、気候変動の専門家である江守正多先生をお招きしました。分かり易く詳しくお話していただきます。

日時 2025年5月22日（木）19:30~21:00（質疑含）

演題 『気候の危機にどう向き合うか』

講師 江守 正多さん（東京大学 未来ビジョン研究センター教授）

参加費無料
先着100名まで

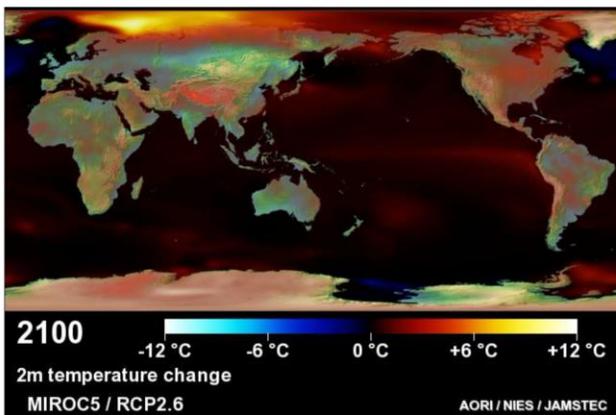
申し込みは、<https://3r250522.peatix.com/> から「チケットを申し込む」にて、オンラインでお申込みください。
または、3R全国ネット(reuse@citizens-i.org)宛てにEメールでお願いします。件名を、「オンラインセミナー5月22日視聴希望」とし、氏名・所属・TELを記載してください。後日、視聴用のURLをお送り致します。



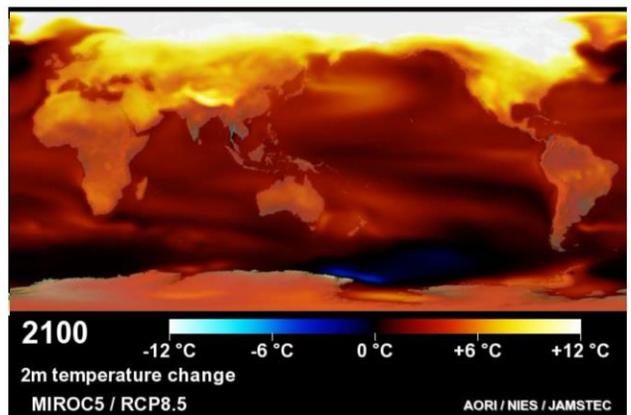
【講師プロフィール】

1970年神奈川県生まれ。1997年に東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程にて博士号(学術)を取得後、国立環境研究所に勤務。同研究所 気候変動リスク評価研究室長、地球システム領域 副領域長等を経て、2022年より現職。専門は気候科学。東京大学大学院 総合文化研究科で学生指導も行う。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」「地球温暖化の予測は『正しい』か?」、共著書に「地球温暖化はどれくらい『怖い』か?」、監修に「最近、地球が暑くてクマってます。」等。

気温変化シミュレーション



「低い」シナリオ相当
(~+2°C安定化)



「非常に高い」シナリオ相当
(対策無し、化石燃料依存)

MIROC5気候モデルによる (AORI/NIES/JAMSTEC/MEXT)

4